発行日　平成25年（2013年）12月

Nikko City International Association

Vol.15

日光市国際交流協会会報

特集：ラピッド市との中高生相互交流事業

ラピッド市中高生派遣事業

日光市の姉妹都市、アメリカ合衆国サウスダコタ州ラピッド市とは、毎年夏に中高生の交流を実施しています。

今年は、7月22日から8月2日までの日程で日光市内の中高生8名がラピッド市を訪れました。滞在中は、サム・クェイカー市長を表敬訪問し、名誉市民証をいただいたほか、マウントラッシュモアやバッドランズ国立公園などの名所を訪れ、ラピッド市の歴史や雄大な自然に触れました。また、ラピッド市の協会役員の方が勤務する消防署や大学を見学させていただきました。さらに、地元テレビ局や新聞社の取材を受けるなど貴重な体験もしました。言葉や習慣の違い、アメリカのスケールの大きさに戸惑い気味だった生徒達も、優しいホストファミリーや温かく迎えてくれた協会役員の皆さんのサポートのもと素晴らしい12日間を過ごしました。

名誉市民証をいただきました。

地元テレビ局の取材を受けました。

ホストファミリーにお寿司を作りました。

購入したばかりの消防車に乗りました。

お別れ会に和楽踊りを披露し、
みんなで踊りました。

4人の有名な大統領がお出迎え。

ラピッド市でホームステイを体験して

今市高校2年　武田　晏奈

私が、ラピッド市中高生派遣事業に応募したのは、英語が得意になりたい、世界を知りたいという目的もありましたが、なによりも自分の人生の中で絶対に忘れられない経験をしたかったからです。

出発前の事前研修では、皆と仲良くできるのか、私はアメリカで何を学べるだろうかと不安もありましたが、その反面ラピッド市の人々との出会いが楽しみで頭が一杯でもありました。

ラピッド市に滞在した一番の思い出は、ホストファミリーと約2週間寝食を共にした事です。文化や育ってきた環境が全く違う人々と過ごした2週間は、とても素晴らしいものでした。食事は、肉料理が中心で、肉料理が好きな私はとても嬉しかったです。家には地下に部屋があり、とても広く快適でした。私は英語を上手に話せませんが、ホストファミリーが話している事を一つでも多く理解したかったので、知っている単語や文章を全て使ってコミュニケーションをとろうと努力しました。お互いが思っている事を共有したかったので、出来るだけ一緒に行動するようにしました。

また、大学や博物館、消防署、美術館等を見学したことも印象に残っています。それらの場所で聞くお話は初めて知ることが多かったのですが、とても興味深く、どんどん引き込まれました。自分の目で見て、触れて体で感じることができました。また一つ物知りになれたようで、とても嬉しかったです。もっと沢山未知の世界に触れたいと強く思いました。

今回の経験を通して、私は知ることの楽しさ、学ぶことの面白さや積極性の大切さを改めて知りました。これからは、興味のある事や学ばなければならないこと、自分にとってプラスになる事もマイナスになる事も積極的に体験していきたいと強く思いました。そして様々な経験をステップにして、夢を叶えたいです。将来機会を作り海外で学べる経験もしたいです。

無事を祈り送り出してくれた家族、この派遣事業を支えてくれた皆様に心から感謝しています。人生で忘れられない夏になりました。これからも精一杯努力していきたいです。

ラピッド市中高生受入事業

8月2日から10日までラピッド市の高校生6名とラピッド市・日光市姉妹都市協会の役員1名が日光市を訪れました。滞在中は、ホームステイをしながら、日光東照宮や足尾銅山、華厳の滝などを見学しました。今市高校での交流では、書道や折り紙、茶道、おはじき、けん玉遊びなどをして日本の文化に触れました。また、2年ぶりに茨城県大洗町へ海水浴に行きました。日光市からラピッド市を訪問した中高生も同行し、ラピッド市の高校生と交流を深めました。

協会主催の歓迎会、お別れ会も開催され、多くの会員の皆さんが参加されました。参加者からは、また日光市を訪れたいとの声が聞かれました。

日本三大名瀑の一つ華厳の滝にて。

おはじきの遊び方を教えてもらいました。

大洗アクアワールドでイルカ・アシカのショーを楽しみました。

日光江戸村で忍者に会いました。

日本の文化を通じて交流を深めました。

初めての囲炉裏に興味津々。

平家の里で平家の文化や歴史に触れました。

ホストファミリー体験

ホストファミリーとして今回6度目の受け入れをした掘百合子さんに伺いました。この夏、ラピッド市・日光市姉妹都市協会の役員のみを受け入れましたが、途中から高校生2名を加えた合計3名を受け入れました。

Q ホストファミリーを始めようと思ったきっかけは何ですか？

A ホストファミリー募集のチラシを興味があって家に持ち帰ったところ、家族の理解もあって始めようと思いました。

Q ご家族の皆さんは、受け入れ中どうされていますか？

A それぞれが積極的にかかわっていると思います。
特に子供達は帰宅後ゲームをしたり遊んだりしています。

Q ホストファミリーをして良かったと思ったことは何ですか？

A 遠くに家族が増えたことです。

Q 思い出に残るエピソードはありますか？

A 今年は、当初1人の受け入れでしたが、都合により途中から3人に。とても賑やかで楽しい時間でした。最後の日に子供の発案でお別れパーティーをしたのがとても楽しかったです。

Q 大人と中高生の受け入れで違う点は何ですか？

A そんなに違いは感じられませんが、大人の方のほうが相手を理解しようとするというところでしょうか。

イベントリポート

5月8日　平成25年度総会

平成24年度事業及び決算の報告、平成25年度事業計画及び予算が承認されました。

総会終了後、「ブライダルパレスあさの」にて会員相互の親睦と交流を図る懇親会を開催しました。

6月1日、7月27日、8月29日
ハロウィンかぼちゃ栽培体験

10月19日に開催した「ハロウィン体験」のランタン彫りに使用するかぼちゃ栽培体験を実施。今年も4Hクラブの皆さんにご指導いただきながら、1回目は苗植え、2回目は育った苗の手入れをしました。今年は好天が続き、予定よりも早い8月29日に収穫をしました。

※ハロウィン体験に参加した家族分のかぼちゃを収穫できなかったため、ランタン彫りは行いませんでした。

6月28、29日
ラピッド市・日光市姉妹都市協会トラビス・サターフィールド前会長をご招待しました。

ラピッド市・日光市姉妹都市協会の前会長で、現在沖縄県在住のトラビス・サターフィールドさんを講師にお招きし、6月28日に行ったラピッド市中高生派遣事業のアメリカ学習会で、ラピッド市やアメリカについて紹介していただきました。翌日には、ポットラックパーティーで交流会を実施しました。トラビスさんと親交が深い会員や、ラピッド市への訪問を希望している会員などが集い、和やかなひとときを過ごしました。

7月31日　国際理解講演会
「食から世界を考える『フランス編』～美食の街リヨン～」

宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センターとの交流事業として、毎年「食」をテーマにした講演会を実施しています。今年の第1回目は、フランス編。前之園望先生を講師にお迎えし、美食の街といわれるリヨンの食文化についてお話しいただきました。先生にご用意いただいたヌガーとハーブティーで、フランスのティータイムを楽しみました。参加者は先生のお話に熱心に耳を傾けていました。

9月7日
作って食べよう世界のごはん ～ベトナム編～

宇都宮大学大学院に在学中のベトナム人留学生、ノン・ティ・ビックさんに揚げ春巻き、バインセオ、空芯菜の炒め物の作り方を教えていただきました。食後は、ベトナムの民族衣装「アオザイ」を身に着けたノンさんにベトナムの歴史や地理、食文化についてのお話をしていただきました。日本語教室に在籍中のベトナム人とアメリカ人の学習者も参加し、賑やかな料理講座となりました。

9月21日　国際理解講座
「日米比較に見る日本教育の展望 ~地域経済発展の要としての学校~」

日光商工会議所と日光市国際交流協会の主催で、昨年度に引き続き、國學院大學人間開発学部長の新富康央教授をお迎えし、日本とアメリカ教育の違いや地域経済を担う人材を育成する学校の役割についてお話いただきました。現地の学校で実際に使われていた教材や資料は興味深く、現役の教師の方も熱心に質問していました。

9月28日
4部会合同「ナマステ・インディア2013」視察ツアー

東京・代々木公園で開催された日本最大級のインドフェスティバルを見学しました。この日は、天気にも恵まれ大勢の人で賑わっていました。

参加者は、スパイスの効いたカレーや舞踊、音楽やショッピングを満喫しました。

10月19日　ハロウィン体験

今年も沢山の子供達がハロウィン体験に参加しました。ドアをノックしてお菓子をもらう「トリック・オア・トリート」や自慢のコスチュームを披露するコスチュームコンテスト、ピニャータというお菓子の入った紙製のくす玉を棒で叩いて割るゲームをしました。イベント部会の方々手作りのかぼちゃのチーズケーキやアップルタルトをいただき、少し早いハロウィンを過ごしました。

日本語教室

毎月第1・2・4木曜日に日光市民活動支援センターにて日本語教室を開催しています。

フィリピン、ベトナム、アメリカ、タイ、デンマーク出身の学習者が毎回10名程度参加し熱心に学習をしています。レベルに合った内容をマンツーマン、または2～3名のグループで学習しています。写真は、10月に行った教室のひとこまです。

日本語を教えるボランティアの方を随時募集しております。学習者の方達と交流しながら日本語を教えてみませんか。

世界の国々⑬～アメリカ編②～

日光市には24か国から来た外国人の方が約600名暮らしています。そこで彼らの母国について文化や習慣などを中心にシリーズで紹介しています。今回は2013年8月から今市高校に留学中のサライヤ・ジェルメインさんが日本の高校に留学して驚いたことをご紹介いたします。サライヤさんは、9月まで協会イベント部会　馬場部会長のお宅にホームステイをしていました。協会のイベントに参加し、日本語教室でも熱心に勉強していました。

アメリカ基礎データ

- 国　名：アメリカ合衆国
- 首　都：ワシントンD.C.
- 面　積：962.8万平方キロメートル(日本の約25倍)
- 人　口：3億875万人
- 言　語：主として英語(法律上の定めはない)
- 通　貨：ドル　US$　(1US$＝約102円)

サライヤ・ジェルメインです

アメリカ合衆国インディアナ州ヴァルパライソ出身で、今市高校に留学中です。趣味は、詩を書くことと読書です。将来は、会計士になりたいです。日本にいる間に日本でできること、見られること全てを経験したいです。例えば、東京へ行ったり富士山を見たりしたいです。それから日本の食べ物は、何を食べてもとても美味しいので大好きです！

☆ 校則の違いにびっくりしました

アメリカと日本の高校を比べてみて一番の大きな変化は、制服を着なければならないことです。アメリカの高校に通っていた時は、生徒は着たい服を何でも着ていくことが許されていました。アクセサリーやお化粧、髪を染めることも自由でした。

でも日本の高校では、アメリカの校則と全く反対でとても驚きました。生徒は制服を着なければならないし、アクセサリーやお化粧も許されていません。髪を染めることも許されていないと思います。

☆ 車を運転して学校へ通えない?!

もう一つの大きな変化は、通学の方法です。日本の高校では、電車、自転車や徒歩で通学しますが、アメリカの学校では、スクールバスに乗るか、自分で車を運転して通学します。日本の高校では車を運転して通学が絶対に許されていないので本当に驚きました。私が日本に来たばかりの頃、アメリカで許されていた事が、ここでは禁止されていることを知ってとても驚きました。

☆ 先生が教室を移動する授業

アメリカの高校では、生徒が授業ごとに教室を移動しました。でも日本の高校では、生徒ではなく先生が授業ごとに移動します。同じ教室で1日のほとんどを過ごすことは私にとってとても難しいことでした。

☆ アメリカにはない「掃除」の時間

日本の高校生が“掃除”をすることを知り、とても面白いと思いました。アメリカの高校生は、“掃除”をしたことはないです。さらに驚いたことがあります。校舎に入る前に靴を脱いでスリッパに履き替えることです。アメリカの学校では1日中靴を履いたたまま過ごします。

日本の生活習慣に適応することは難しいですが、不可能ではないと思います。時間をかければこれらの変化はもっと簡単になって、すぐに慣れると思います。

アメリカの教室の様子。

今市高校のお友達といっしょに。

アメリカでは、好きな服を着て学校に通っています。後ろには黄色のスクールバス。

プロムの前にお友達と一緒に。
左から3番目がサライヤさん

（※プロム…
アメリカの高校で学年の最後に開かれるフォーマルなダンスパーティーのこと）

クッキングレシピ

サライヤのピーナッツバタークッキー

材料（24個分）

- ピーナッツバター（甘くないもの）1カップ
- 砂糖　1カップ
- 卵　1個
- ハーシーズのキスチョコ（手に入らなければ他のチョコ）　24個

作り方

① オーブンを170℃に余熱する。
② ピーナッツバター、砂糖、卵を大きいボウルに入れてよく混ぜる。
③ 混ぜたら、生地を小さな球状に丸める。
　砂糖をまぶして天板に載せる。
④ 生地の真ん中にキスチョコを軽く押し込む。
⑤ 170℃のオーブンで5分焼く。
⑥ できあがり♪

今後の予定

12月21日（土）	・国際交流パーティー
2月　1日（土）	・作って食べよう世界のごはん～ブラジル編～
2～3月中	・国際理解講演会
	・4部会合同劇団四季ミュージカル観劇ツアー
	・ポットラックパーティー

※会員の方には随時お知らせいたしますので是非ご参加ください。

協会データ

個人会員　279名
家族会員　29家族
法人会員　56社

外国人登録者数

24ケ国　557名

平成25年11月1日現在

お知らせ

◆ 会費の納入について

まだ会費を納入されていない方は、下記の方法により納入してください。
① 現金を協会事務局へ持参
② 当協会預金口座に振込（振込手数料は各自負担）
※振込先の金融機関については事務局にお問い合わせください。

◆ 会員募集のお願い

当協会では随時会員を募集しております。国際交流に興味のある方をぜひお誘いください。
年会費（4月～3月）　個人…3,000円　家族…5,000円　法人…10,000円

◆ E-mailでの情報提供

経費節減のためE-mailで通知やイベント情報をお送りしています。ご協力いただける方は事務局にご連絡ください。
（データ容量が大きい場合があるため、携帯電話のアドレスはご遠慮ください）

募集

◆ホストファミリー登録

海外からの短期訪問者を家族の一員として受け入れてくださるホストファミリーを募集しております。

◆日本語教室ボランティア

毎月第1・2・4木曜日、日光市民活動支援センターにて在住外国人向けの日本語学習会を開催しております。ボランティアで日本語を教えていただける方を募集しております。資格、経験は問いません。教室の見学も随時受け付けております。日本語を教えることを通じて、外国の方と交流を図ってみませんか。

◆翻訳・通訳ボランティア

市が発行する資料等の各種言語への翻訳や、海外からの訪問者の通訳などに協力いただける方を募集しております。資格等は必要なく、英語、中国語、韓国語、スペイン語など言語は問いません。ご協力をお願いいたします。

＊興味のある方、登録を希望される方はお気軽に事務局までご連絡ください。

お問い合わせ

日光市国際交流協会事務局（日光市観光部観光交流課内）
〒321-1292 日光市今市本町1番地　TEL 0288-21-5196　FAX 0288-21-5121
E-mail kankou-kouryuu@city.nikko.lg.jp　ホームページ http://www.nikkocity.org